

鈴鹿川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに係る令和6年度の取組計画

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

- 既存の防災教育教材に、流域治水の内容を充実、中学・高校用教材の作成検討
- 地域住民の学校防災授業への招致、地域に特化した防災情報、被災体験の共有
- 国による防災教育授業の実施支援の継続

訓練活動

- 国、県、市等、流域内の多様な主体が参加する水防訓練の実施（総合水防演習）
- 指定河川洪水予報発表の訓練の実施（津地方气象台）
- 防災研修の実施（鈴鹿市）
- みえ防災・減災センターとの連携による研修会等の実施（津地方气象台）

水防活動の支援

- 自主防災組織への支援（鈴鹿市、四日市市、亀山市）
- 水防訓練の実施（鈴鹿市、四日市市、亀山市）

連携活動

- 流域市町のエデュケーション委員会との連携、防災教育の取組や教材等についての紹介・情報提供

リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップの継続的な周知
- 「土砂災害情報提供システム」による土砂災害危険度情報及び土砂災害警戒区域等の提供（三重県）
- ARアプリ「ARLook(あるっく)」による浸水リスク・避難場所の啓発（四日市市）
- 内外水統合 水害リスクマップ・三次元洪水浸水想定の見える化
- 線状降水帯半日前予測の県単位での発表（津地方气象台）
- メディアと連携した洪水時の河川映像の提供等の洪水情報の提供
- 簡易型河川監視カメラ等の拡充（三重県）

水災害対策の支援

- 出水期前に希望する市民への土のうの等の事前配布（亀山市）
- 「田んぼダム」の推進・活用（三重県）
- ため池低水管理の推進・活用（三重県）

流域治水の広報

- 防災訓練等へのブース出展（取組紹介）
- HP、SNS等による防災教育等に関する情報発信
- 流域治水に関する啓発活動（三重県）

計画策定

- 立地適正化計画に基づく防災指針の検討（四日市市、亀山市）
- 雨水総合管理計画の検討（亀山市）
- 地区防災計画策定支援（亀山市）
- 企業によるタイムライン・BCP作成の啓発（亀山市）
- マイタイムラインの作成促進
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援（三重県）

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		防災訓練等へのブース出展（取組紹介）		
			HP、SNS等による防災教育等に関する情報発信、流域治水に関する啓発活動		
	◎連携活動 地域 企業・団体		流域市町との教育委員会との連携、防災教育の取組や教材等についての紹介・情報提供		
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体		洪水・土砂災害ハザードマップの継続的な周知、内外水統合水害リスクマップ・三次元による洪水浸水想定区域図の見える化		
			線状降水帯半日前予測の県単位での発表、メディアと連携した市民への情報提供		
			簡易型河川監視カメラ等の拡充		
	◎教育活動 地域 個人 企業・団体		既存の防災教育教材に、流域治水の内容を充実、中学・高校用教材の作成検討		
			地域住民の学校防災授業への招致、地域に特化した防災情報、被災体験の共有、国による防災教育授業の実施支援の継続		
	◎訓練活動 地域 個人 企業・団体		● 総合水防演習の実施		
		指定河川洪水予報発表の訓練の実施			
			防災研修の実施、みえ防災・減災センターとの連携による研修会等の実施		
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体		立地適正化計画に基づく防災指針の検討、雨水総合管理計画の検討		
			地区防災計画策定支援、企業によるタイムライン・BCP作成の啓発、マイタイムラインの作成促進		
			要配慮者施設における避難確保計画の作成支援		
	◎水災害対策の支援 個人		出水期前に希望する市民への土のう等の事前配布		
			「田んぼダム」の推進・活用、ため池低水管理の推進・活用		
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		自主防災組織への支援		
		水防訓練の実施			

鈴鹿川水系:「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることにに関する代表事例

流域にも視野を広げる

(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

小学校での新学習指導要領の全面实施に向け、教材(副読本)、運営用資料(卓上模型、浸水モニター写真等)の充実、授業運営サポートを行い、各小学校が主体となり継続的に実施できるような仕組みづくりを引き続き実施。



防災教育授業イメージ

副読本

卓上模型

写真モニター

【取組主体】国土交通省 三重河川国道事務所

訓練活動

災害に対しての正しい知識を持ち、日頃からの備えを行い、世代を超えて「地域の防災風土」として育んでいけるよう「鈴鹿市職員」や「市内の防災ボランティア」による防災研修会を実施。



避難訓練やタウンウォッチング

図上訓練(DIG訓練)

【取組主体】鈴鹿市

水防活動の支援

出水期に備えて消防署員、市職員及び消防団員の水防に関する知識・技能向上を図るとともに実災害時に即応可能な水防体制の構築を目的に水防訓練を実施。



水防訓練イメージ

【取組主体】鈴鹿市、四日市市、亀山市

流域治水の広報

風水害などに対する防災意識を高め、災害等から命を守るための備えをより一層促進するため、防災イベント等による流域治水の広報活動を実施。



防災ブース出典例(浸水体験VR)

【取組主体】国土交通省 三重河川国道事務所

リスク情報等の提供

分かりやすい防災情報の提供に取り組むため名古屋大学減災連携研究センターと共同開発したARLook(あるつく)による浸水リスクの啓発。

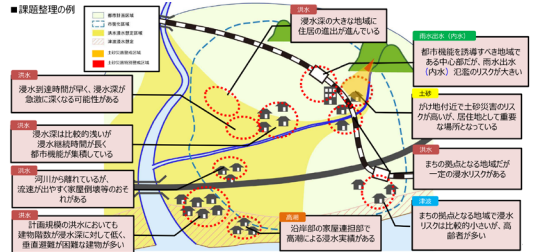


現在地でカメラをかざすと、その場所の想定浸水深や避難所までの距離・方角を表示することができる。

【取組主体】四日市市

計画策定

居住誘導区域に残存する災害リスクに対し、計画的かつ着実に必要な防災・減災対策に取り組むため防災指針作成に向けた検討を実施。



防災指針を検討する上での課題整理の例

【取組主体】四日市市、亀山市